

黒谷和紙協同組合

時代を超えて受け継がれる 手漉き和紙

コア技術と事業概要

手漉きならではの風合い

黒谷和紙協同組合は、京都北部の伝統産業として継承されている和紙生産を、事業として継続しています。現在、多くの国内の和紙生産地が機械漉きに変わっていく中で、黒谷では手漉き製法にこだわり生産を続けています。また和紙の原料となる楮(こうぞ)作りから紙漉き・乾燥までの一連の工程がこの地域で行われています。

強靱な楮紙を利用し作られるもみ紙は、手もみならではの「しぼ」(皺)の風合いがよく、これを和紙用途だけでなく、名刺入れやクッション、バッグなどの素材にも使用し、様々な紙工芸品や民芸品として販売しています。また、最近パソコン周辺機器メーカーから、黒谷和紙を用いたパソコンスタンドが発売されるなど、積極的な用途開発が進められています。



図1 和紙の原料となる楮

注目の新技術・新展開

和紙の良さを幅広い製品に活用

和紙を裁断して、綿糸や絹糸と合わせて紙糸を織り込んで作成する紙布は、着心地や風通しの良さから、古くは女性の夏の衣料用として使用されていました。現在、黒谷和紙では、あらためてこの紙布に注目し、縦糸に絹糸、横糸に紙糸を織り込んだ紙布を開発し、新たな用途を検討しています。



図2 取扱商品の一例として和紙や紙工芸品

企業情報

約800年前に京都北部の黒谷に移り住んだ平家の落武者が、生業として和紙づくりを子孫に伝えていったものが現在に至る。1996年に黒谷和紙協同組合として法人化。黒谷和紙は京都府指定無形文化財、京もの指定工芸品に指定されており、また、2017年には「黒谷和紙」が地域団体商標に登録された。手漉きによる和紙生産のほか、紙漉き体験や見学の間として、黒谷和紙工芸の里などを運営している。

創立 : 1996年
本社 : 京都府綾部市
生産拠点 : 京都府綾部市
Web : <http://kurotaniwashi.jp/>
Tel : 0773-44-0213

取引の多い業界分野



業界の位置づけ



お問い合わせ

京都グリーンケミカル・ネットワーク (KGC-net) 事務局

〒612-8374

京都市伏見区治部町105番地 京都市成長産業創造センター

電話 075-603-6703

E-mail kgc-net@astem.or.jp